

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：令和4年12月2日（金）17：30～19：00

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

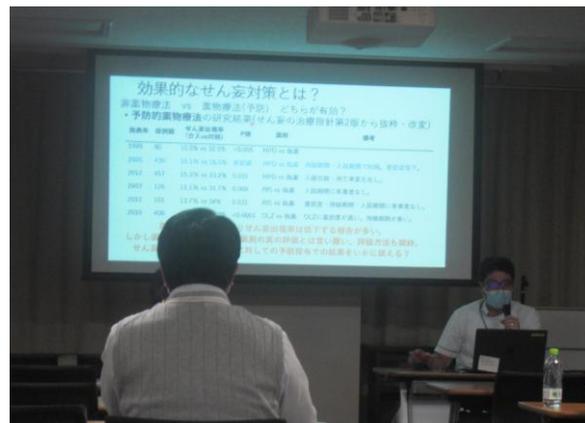
『認知症・せん妄の薬剤療法』

感染症対策のため、Web会議システムを活用し、ハイブリット形式の研修会を開催いたしました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者36名に参加していただきました。

〈 講師 〉

北見赤十字病院 薬剤部 臨床薬剤業務係長

酒井 慶二 氏



今回の研修会は当院薬剤部酒井係長より『認知症・せん妄の薬剤療法』というテーマで開催いたしました。認知症・せん妄対策に用いられる薬剤の効果や副作用、不穏時頓服を使用するタイミングや使用後の注意事項等について講話していただきました。薬剤へ過度な症状改善の期待はせず、薬物療法と並行して非薬物療法も実施することが重要というお話もありました。また、不穏状態の利用者に関する具体的な場面をいくつか用いて、どのように対応すべきかを教えていただき、参加者の理解を深められたのではないかと考えています。

終了後のアンケートでは「薬も上手に服用できると支援がしやすくなると思った。薬だけに期待をせず、介護の力も重要なことを再確認することができた。」「せん妄は薬剤で治まると考えるのではなく、普段から本人の状態観察を行い身体的な原因を考えると介護職でも実践しやすい話が聞けて参考になった。」「今後の業務を行っていく上で頓服の扱い方について、とても参考になった。」「いつもと違うことがわかるのは日頃の観察から…利用者に対する興味関心をいつも忘れずにいたいと思う。」等の多くの感想をいただき、明日からの実践に活かせる学びの機会となったのではないかと考えています。



今年度の認知症疾患医療連携研修会は、2023年2月2日（木）開催予定の当院田中公認心理師による「介護の現場で役立つストレスケア」で最後となります。ハイブリット形式で開催いたしますので、関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）